



松本市図書館だより

令和元年 7月1日発行 第73号

編集・発行 松本市
中央図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099



蔵書点検の報告



ご協力
ありがとうございました!

皆様のご理解とご協力により、市内図書館の特別整理（蔵書点検）が無事に終了しました。
その様子を写真でご紹介します。



①Pot という機械で館内全ての本の
バーコードを読み取り点検します。
これにより行方不明になった本等が
明らかになります。



②書架にならんでいる本
を全て出した後、棚を
綺麗に拭きます。



③最後に、本の背中に
ついているラベル
（請求記号）の通りに
本をきれいに並べ直します。

飯野和好さん 講演会のお知らせ

7月 11日（木） 10：00～11：30（開場9：30）、松本市音楽文化ホールの小ホール（ザ・ハーモニーホール）で

「ねぎぼうずのあさたろう」シリーズでおなじみの飯野和好さんによる講演会を行います！

詳細は各館で配布中のチラシをご覧ください。たくさんのご来場お待ちしております♪



7月8月のイベント・お知らせ

★消しゴムはんこ講座★

日時：7月12日（金）9時30分～11時30分

場所：島内公民館 講義室

講師：やざきなおみさん（山のはんこ屋「のら猫工房」）

材料費：650円（当日集金）

定員：15名（要申し込み）

※大人のための講座です。（託児の用意はありません）

申し込み・問い合わせ：島内図書館 0263-48-2711



★夏のスペシャルおはなし会★

わらべうた、絵本のよみかかせ、パネルシアター等を行います

日時：8月4日（日）10時30分～11時30分

場所：あがたの森文化会館 2-8 教室

出演：松本おはなしの会さん

※お子様から大人の方までご参加頂けます。

予約不要・入場無料

申し込み・問い合わせ：あがたの森図書館 0263-32-1761



！お知らせ！



・南部図書館が小型全熱交換器更新工事のため

7月15日（月）～7月19日（金）まで休館します。

・中央図書館の土曜日及び日曜日並びに祝日の開館時間を
下記日程で延長します。

7月27日（土）～8月25日（日）9時30分～18時まで

★夜のこわ～い人形劇+おはなし会★

日時：8月10日（土）18時30分～（約1時間）

場所：なんなんひろば3階大会議室

※予約不要・入場無料

出演：人形劇団やまんばさん

申し込み・問い合わせ：南部図書館 0263-26-1083





新刊のご案内



「しょうがっこうがだいすき」 うい/作 えがしらみちこ/絵 学研プラス

【E1 所蔵館：中央 南部 あがた 本郷 島内 空港 団体】

小学校に入るときはみんな不安ですね。小学校2年生のういちゃんが1年生になる前に準備しておいたり、1年生になったらやるといいなあと実際に思ったことが絵本になりました。

「ひらがながかけるように」とか「みんなのはなしをきこう」など、うなずけることがたくさんあります。ぜひお子さんと一緒に読んでみてください。

「おとなのごはんと一緒に作れる子どものお弁当」 阪下千恵/著 日東書院本社

【実用赤7 596サ 所蔵館：中央 南部 島内 空港】

毎朝お弁当を作るのは大変ですね。この本ではおとなのごはんで子どものお弁当を作る知恵がいっぱいです。行事・行楽のお弁当、副菜、常備菜のアレンジ、お弁当箱への詰め方など、わかりやすく載っています。毎日のお弁当づくりにとても参考になりますよ！



予約本ベスト5

令和元年5月15日～
令和元年6月15日受付

一般書

- 1位『百花』 川村 元気/著、文藝春秋
- 2位『平場の月』 朝倉 かすみ/著、光文社
- 3位『そして、バトンは渡された』 瀬尾 まいこ/著、文藝春秋
- 4位『むかしむかしあるところに、死体がありました。』 青柳 碧人/著、双葉社
- 5位『彼女たちの場合は』 江國 香織/著、集英社
- 5位『傲慢と善良』 辻村 深月/著、朝日新聞出版

児童書

- 1位『おしりたんてい』シリーズ トロル/さく・え、ポプラ社
- 2位『ふしぎ駄菓子屋銭天堂11』 廣嶋 玲子/作、偕成社
- 3位『あしたもチャーシューメン』 最上 一平/作、新日本出版社
- 4位『消えた時間割』 西村 友里/作、学研プラス
- 5位『オレ、おおきくなるのいや』 デヴ・ペティ/ぶん、マイクロマガジン社

図書館に聞いてみよう! ??

【今月の事例】「土用の丑の日」について知りたい

ア 『イラストでわかる日本のしきたり』
(飯倉 晴武/編著 2013年/素朴社)

イ 『毎日小学生新聞のなるほどニュース新発見!』
(毎日小学生新聞/編 2013年/毎日新聞社)

土用は立春、立夏、立秋、立冬の前の日の十八日間のことをいい、一年に四回あります。

四回ある土用の中で、さらに丑の日に当たる日が「土用の丑の日」です。

特に夏の土用の時期は暑さが厳しく、夏バテをしやすい時期です。それを乗り切るために、栄養のある鰻を食べることが習慣となっています。

由来は諸説ありますが、今のように土用に鰻を食べる習慣が一般化したのは、江戸時代、蘭学者の平賀源内が「丑の日に『う』の字がつく物を食べると夏負けしない」という言い伝えから、鰻屋の宣伝として看板に「本日土用丑の日」と書いたところ、その鰻屋は大繁盛したといえます。

それがきっかけとなって土用の丑の日に鰻を食べる風習が定着したようです。



図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

f フェイスブックやっています

松本市図書館 アルプスの山々



フェイスブック QRコード

FMまつもと 今月の出演

7月25日(木) 12:30～

チャンネル: 79.1MHz

※放送日等変更になる可能性もあるのでご了承ください。

